

さくら山王自治会
第39回定時総会
2025年4月12日

報告書

議事録

さくら山王自治会 第39回 定時総会 報告書

1. 日 時 : 2025 年 4 月 12 日
2. 場 所 : 山王小学校 体育館
3. 参加者 : 791 名(内訳:会場出席者 87 名、委任状 490 名、評決書 214 名)
出席者が定足数を満たしていることを確認し会は成立。議長を選出。
4. 議 長 : 青木氏、議事録担当: 諏佐 佳英
5. 議 案
 - 1 号議案 活動報告/計画と方針
 - 2 号議案 会計報告(2024 年度実績)/会計監査報告
 - 3 号議案 2025 年度予算案
 - 4 号議案 集会所建て替え(2035 年)
 - 5 号議案 自治会規約の修正
 - 6 号議案 2025 年度班長(信任)、役員(専任)
6. 議 事 以下の賛成数により、自治会規約に基づき各議案は議決された。
 - 1 号議案 総数 791 名、賛成 778 名
 - 2 号議案 総数 791 名、賛成 779 名
 - 3 号議案 総数 791 名、賛成 772 名
 - 4 号議案 総数 791 名、賛成 738 名
 - 5 号議案 総数 791 名、賛成 766 名
 - 6 号議案 総数 791 名、賛成 780 名

以上、議事を明確にするため、本議事録を作成し、代表者の署名、押印とする。
質疑応答など詳細は別紙に記載する。

会長: 石川 裕彦 

議長: 青木 薫 

副会長: 武藤 由里美 

総務部長: 山之内 真二 

さくら山王自治会 第39回 定期総会 議事録

開催日時：2025年4月12日 13:00～15:30

場所：山王小学校 体育館

参加者：87名

委任状：490名

評決書：214名

合計：791名

【総務部挨拶】

定刻になりました。参加者87名、委任状490名、評決書214名、合計791名の方が参加されております。総会規約に会員の半数以上で総会が成立するという規約があります。本日はその半数をこえていますので、本日の総会は成立いたします。規約により本日の議案は議長への委任状を含め半数を超えれば議案が議決されます。続きまして議長の選出をします。会長に議長の選出をお願いします。よろしくお願いします。

【会長挨拶および議長選出】

今日はたくさんの方に集まっていたいてどうもありがとうございます。事前にお渡しした議案書に沿って、皆さんと議案ごとに議論をして、議決をしていきたいと思っております。今日の総会の進行役については、副会長の青木さんに議長をやっていただきます。青木さんよろしくお願いします。

⇒賛成拍手多数により、青木氏議長選出

1. 議案審議

1.1 1号議案 活動報告/計画と方針

■活動報告総括

- ・コロナ以降、約5年ぶりの対面総会開催。今回の総会を通じて、課題を次期執行部に引き継ぐ。
- ・課題として以下の点を挙げる。
 - 現行の運営体制（毎年班長が変わる・役員選出方式）を見直す必要性。
 - 地域の街づくりやコミュニティ活性化。
 - 防災意識の強化、住民参加型の防災訓練の企画推進。
 - 将来的な集会所の建て替えも含めた自治会のあり方の再検討。

■行事部

《活動報告》

- ・2023年7月27日：夏祭りを実施（参加者676名）。ボランティアと共に企画運営。
- ・盆踊りを実施、事前に練習会も開催。
- ・2023年11月：0円バザーにて2区画確保し支援。
- ・古いテント（重くて使用困難）を処分し、新たに1張購入。

《課題》

- ・班数減により行事部員が11名→9名に減員。業務分担の見直しが必要。
- ・夏祭りの時期・時間帯の再検討。

《新年度の計画・方針》

- ・夏祭りを企画運営委員会と協力して開催予定。ボランティアも募集。

- ・夏祭り以外にも、〇円バザー等イベント支援を継続。

■防犯部

《活動報告》

- ・月3回の防犯パトロール、佐倉警察署との合同パトロール。
- ・犯罪状況の報告書作成と回覧。
- ・防犯カメラの月次稼働確認、年1回の点検、故障した初期設置のカメラ2台を更新。
- ・のぼり旗の交換。
- ・外部の会議・研修会に参加。

《課題》

- ・地域の安全確保のために、防犯カメラの維持と効果的運用の継続検討が必要。

《新年度の計画・方針》

- ・パトロールとカメラの「抑止力」を基軸に、安全対策を強化。
- ・警察・学校など関係機関との連携強化。
- ・のぼり旗の新規設置検討。

■防災部

《活動報告》

- ・2023年11月：防災訓練（避難、通報、消火、AED講習）を実施。
- ・2023年7月：佐倉市の非常登庁訓練を見学、防災井戸や備蓄倉庫を確認。
- ・コミュニティ助成事業（自治総合センター）に応募。
- ・2023年5月：佐倉消防署での普通救命講習に参加。

《課題》

- ・防災訓練の住民参加者が少なく、参加者の増加が必要。
- ・防災委員との連携を深める必要あり。

《新年度の計画・方針》

- ・班長全員の参加を前提とした訓練の企画を検討。
- ・防災委員は班長会には不参加だが、報告の場を設けて情報共有を促進。

■環境部

《活動報告》

- ・年3回（6月・10月・12月）の全戸一斉清掃（延べ1947人が参加）。
- ・空き地、空き家の雑草調査を3回実施（7月22件→10月12件→12月5件）。市役所に雑草除去の要望書を提出。倒木への対応
- ・公園清掃報告書を2月に提出。公園ベンチ等の点検・改善依頼を市に提出。
- ・カラスよけネット購入、ゴミ出しマナーの注意喚起など。

《課題》

- ・全員参加の会議開催が難しく、会議形態を検討する必要あり。

《新年度の計画・方針》

- ・一斉清掃と雑草調査を継続（6・10・12月）。公園清掃の報告を来年2月に市へ提出予定。
- ・5カ所の市管理公園の点検・改善要望を継続。
- ・街路樹の剪定周期は5年以上。1丁目は昨年度済み、2丁目は今年度予定。

■施設部

《活動報告》

- ・集会所入口へオートロック設置、集会所予約システムの導入。利用規約の改定
- ・利用料金の回収もシステムで実施、1 回目の徴収は円滑に実施できた。
- ・集会所清掃の外部委託（月 2 回）。シルバー人材センターに樹木の剪定を依頼。
- ・集会所利用団体の募集と新規登録。

《課題》

- ・コピー機・印刷機の適正利用管理。
- ・集会所清掃の定期清掃の在り方、外部委託の再検討
- ・オートロックトラブル時の対応マニュアル作成。

《新年度の計画・方針》

- ・集会所の利用促進（ホームページで広報予定）、予約システムの円滑な運用
- ・地域住民にとって使いやすい集会所のあり方を再検討。

■福祉部

《活動報告》

- ・11 月 24 日「第 3 回ゼロ円バザー」を山王未来プロジェクトと共同開催(22 店/347 名参加)。
- ・日赤社資・福祉協議会会費を納付。
- ・愛の募金・歳末助け合い募金を実施。。

《課題》

- ・福祉イベントの新規開催を検討。
- ・活動団体や山王未来プロジェクトとの連携強化。

《新年度の計画・方針》

- ・健康講和などの福祉イベント実施。
- ・ちょこっとサービスの紹介・サポーター登録の広報。

■会計部

《活動報告》

- ・後期自治会費の徴収を実施（昨年度は未実施）。
- ・大口・小口支出に対応し、ミスなく処理を実施。
- ・会計帳簿の記録方法を見直し、原則に沿った形式に。

《課題》

- ・会計経験者の確保と後任への引き継ぎ強化。
- ・会計データベースの活用で業務効率化。

《新年度の計画・方針》

- ・会計帳簿を会計原則に沿って維持し、各部と連携して運用。
- ・進捗会議を継続的に開催（本年度は 2 回のみ）。

■総務部

《活動報告》

- ・毎月の役員会・班長会の準備と運営。
- ・会員情報の更新（入退会対応）と依頼事項への対応。
- ・ホームページの準備・運用。
- ・総会の準備。

《課題》

- ・ 契約書・業者管理の一元化。
- ・ 会員情報の正確かつ迅速な更新。
- ・ 広報活動と自治会の情報発信の強化。

《新年度の計画・方針》

- ・ 契約書原本の一元管理と部門間の共有。
- ・ ホームページの公開と継続運用、コンテンツの充実化。
- ・ 班長連絡文の正確性向上。

■書記

《活動報告》

- ・ 役員会・班長会の議事録を作成し、内容の記録・保存。

《課題》

- ・ 議事録は内部共有用であり、個人情報等が含まれる内容あり。

《新年度の計画・方針》

- ・ 今後はホームページ公開に向けて、議事録フォーマットを改善。
- ・ 情報公開と自治会の活性化に向け、透明性のある議事録運用を目指す。
- ・ 円滑な自治会運営のため、記録体制を継続強化。

■監事

《活動報告》

- ・ 令和 6 年度の幹事業務は、自治会決算書および夏祭りなど個別行事の決算監査を実施。

《課題》

- ・ 監査の対象を決算に限らず、備品管理や運営全般まで広げるべきと提案。
- ・ 執行部とは異なる視点から意見し、議論を補完する役割を目指す。

《新年度の計画・方針》

- ・ 会計部と連携し、予算執行状況も監査範囲に含める。
- ・ 役員会議に積極参加し、透明性のある自治運営に貢献したい。。

《質疑応答》

（議事進行前 冒頭発言）敬愛短大跡地の件が今回の議案に含まれていない。跡地には 108 戸の戸建て住宅が建設予定で、既に解体・手続きが進行中であるが住民には説明はない。地域の重要課題として、説明と議論を求めたい。

⇒議事進行前発言であったため、議長により発言制止。

（質問）冒頭に発言があったが、議事に絡めて発言してほしい。総会議案書の添付資料にあるように敬愛短大の売却問題は皆さん関心がある。冒頭に発言された方は自治会がどのように関わってきたのか聞いたかったのでは。

（会長）敬愛短大跡地は 2023 年夏ごろに売却され、解体工事の段階にある。解体業者と事前に交通規制や工程について直接説明を受けている。戸建て開発が想定されており、住民には自治会加入を促す予定。行政には住民説明会を要請しているが、強制力はないとの回答を受けている。今後も進捗情報は回覧等で共有する予定。

（質問）2024 年 1 月に市の 3 部署を訪問し、現在の開発申請内容を確認（約 100 戸の戸建て住宅計画）。看板設置はあるが、住民説明会は未実施である。開発業者は「総研」（大阪の

デベロッパー)。住民説明がない点に懸念を感じる。市からの許可もまだ下りていない段階である。

⇒議案内容と異なるため議長により発言制止。説明を希望するなら書面での提出を求める。

(会長) 業者に住民説明会の義務はないと行政から説明を受けている。解体終了後に進捗段階ごと行政へ説明を求めていく方針。自治会としても情報収集し、必要に応じて住民と共有する。

(質問) 会計資料の形式が以前と大きく変わり、分かりづらい。特に「防犯カメラ維持管理費」「維持管理積立金」「防災関連費」などが従来と異なる形で表示されている。明瞭性・継続性の原則に反しているのでは。次の第2号議案で改めて質問する。

(質問) 山王地区の土地計画委員会の現在の委員数と選任方法はどうなっているのか。11月の班長会議事録ではすでに委員がいると記載されていた。委員会設置要項(ルールブック)を作るべき。委員選出方法を明文化し、透明性を持たせてほしい。選任を希望している人が受付を拒否された件もある。本来なら受付してルールに基づいて決めるべき。

(会長) 土地計画委員会は役員会・班長会で趣旨説明後、立ち上げ段階にある。現時点では会長1人のみが委員。今後希望者を募る予定。委員会はアドバイザー的役割・準備委員会的な位置付けとするが、具体的活動はまだ開始していない。新執行部と協議しながら委員会構成を進めていきたい。

(質問) 建設されていない空き地が複数存在し、雑草がひどい。来訪者にだらしない印象を与えている。土地所有のみで放置された空き地の現状に不満を感じる。また、市役所が公園清掃や管理から手を引き、自治会任せになっている。特に、林の枝下ろし(1丁目の土手)が3年放置され、広町公園のベンチが壊れたまま放置されている。市役所に強く交渉すべきではないか。その他、成田空港拡張計画の進行に伴う道路問題の懸念点、かつて計画されていた一丁目の道路延長・土地買収が未着手について。今後の見通しを聞きたい。

(会長) 空き地の数は自治会としては把握していない。雑草除去は環境部から市に依頼しており、自治会として継続的に対応している。林の枝下ろしに関する過去の放置については把握していなかった。成田空港拡張や道路問題についての詳細は確認していない。

(環境) 公園の遊具・ベンチは市の管轄。要望は都度提出している。市の予算に左右されるため、自治会では対応不可。引き続き令和7年度も要望は出していく。

(質問) 副班長として防災グッズ一式を引き継いだが、物品が古く、書類も数年前のものであった。災害時の具体的な対応や体制が明確でなく、住民に共有されていない。防災体制を明確に整備・アップデートし、住民へ周知してほしい。副班長の職務や責任範囲も明文化し、合理的な役割分担を望む。

(防災) 副班長は班長補佐として災害対応を担うが、具体的な職務は未整備。古い「防災のしおり」は更新されておらず、次年度に新たなものを作成予定。

(質問) 議事録が以前はホームページで閲覧できたが、現在は見つけられない。現在はどうかしているか。

(会長) 現在のホームページは7~8年前に作成されたもので、すでに更新停止中。今春を目処に新しいホームページを開設予定。議事録や各部の情報も掲載予定。

《第1号議案(活動報告および計画・方針)採決》

出席・委任を含む総数 791 名中、賛成 776 名で決議

1.2 2号議案 会計報告（2024年度決算書）

■議事進行

- ・2号議案、2025年度決算報告に入ります。そちらはお手元の資料にてご確認の方をお願いいたします。2号議案についてご質問のある方は挙手をお願いいたします。

《質疑応答》

- （質問）自治会チラシによる広報活動は良い取り組みで、決算に明示すべき。広報費がゼロ円と記載されており、印刷費などの内訳が不明確。ピクチャーレール設置に関しては、団体支援という形なのか、自治会としての主体事業なのか。設置が先行し、手続きが後回しになった印象がある。稟議や議事録での承認有無の確認をお願いしたい。
- （会長）印刷費は防災活動、防犯活動などの各プロジェクトに付随して実施されたため、広報費としては計上していない。ピクチャーレール設置については、特定団体のためではなく、施設の利便性向上を目的とした。業者ではなく技術のある方の協力を得て材料費のみで設置。役員会や班長会で報告済み。予算外事業としての進行だが、正当な手続きと認識している。
- （会長）1号議案時の質疑応答で会計処理について質問があった件について、決算書フォーマットは変更されておらず、科目別に分かりやすく整理した。自治会ではA～Eの複数通帳を使用しており、用途ごとに分かれていた。A：自治会活動費の主通帳、C：防犯カメラ関連費用の通帳、E：自主防災関連費用の通帳、D：集会所積立金の通帳。今期から2通帳に集約し、決算書の上段に一括で収支をまとめて記載。
- （会計）補足説明をする。以前は通帳ごとに明細を記録し、手間がかかっていた。現在は支出内容をまとめ、処理を簡素化・明確化。通帳の期首・期末残高は一致しており、監査も適正と確認済である。
- （質問）第10回役員会議事録に「各部門が適切に支払い記録を残しているか不明」との記載あり。部門ごとに不適切な処理があったのか。
- （会長）議事録の記述は、2月末決算に向けて「きちんと精算をお願いする」趣旨であり、発言が文面として残ったが、不適切処理を指したものではない。金銭管理は各班長が正しく処理しており、帳簿上の整合性も確認済である。文書管理や契約書管理については課題があり、来年度の反省点として改善予定である。

《第2号議案（2024年度決算報告）採決》

出席・委任を含む総数 791 名中、賛成 779 名で決議

1.3 3号議案 2025年度予算案

■議事進行

- ・3号議案、2025年度予算案に入ります。そちらはお手元の資料にてご確認の方をお願いいたします。3号議案についてご質問のある方は挙手をお願いいたします。

《質疑応答》

(質問) 行事部の予算が前年 185 万円から 224 万円に増加している理由は。

(行事) 2024 年度の実際の支出は 210 万円だったが、助成金や売上(約 20 万円)で収支は 185 万円に。2025 年度の予算 224 万円は「支出額のみ」計上で、収入は予算に含まれていない。実質的な支出増は約 10~14 万円程度である。

(質問) 施設部の清掃外部委託費が廃止されたことについて、今後の清掃はどうするのか。班長などが分担するのか。用具費も含めて予算に計上していないが問題ないか。

(施設) 利用者に清掃してもらう方針とし、外部業者との契約は終了。業者による清掃は「可もなく不可もなく」であった。今後、状況を見ながらスポット的に清掃業者やシルバー人材センターの活用も検討する予定。

(質問) 活動団体支援費の増額について、支援費が 34 万円→40 万円へ増額された理由は。

(会長) 自治会だけでは地域活性化に限界があるため、活動団体を支援する予算として増額。現在は 3 団体支援中だが、将来的には 4~5 団体も視野に入れている。

(質問) 集会所建て替えと予算編成の関連性について、会長が集会所建設方針をいつ公に説明したのか不明。集会所建設資金準備のために他費目(例: 赤十字、消防団)を減額したように見えるが、事前に共有された記憶がない。2 月 15 日の班長会議事録に「集会所建設資金準備のため消防団費用を減額」と明記されている。予算編成にあたり事前に住民と目的共有すべきでは。

(会長) 集会所建て替えについては、4 月・5 月に方向性を説明しており、議事録にも記載している。2035 年度に向けた助成金申請も済ませている(市から 1000 万円の予約登録あり)。減額と集会所建設予算は直接的にはリンクしていない。集会所建て替えは 4 号議案で正式に議決されてから具体化する計画である。議事録記載内容については、「お金を有効に使いたい」という趣旨で発言した。

(質問) 早い段階で議論すべき内容であった。会長が先走って予算編成しているように見える。皆で一体感を持って事業に取り組むべきである。

(会長) 承知した。

(質問) 消防団への 30 万円寄付金の金額根拠が不明。2016 年以前は問題になった経緯がある。任意の 500 円(後援会費)は規約にも明記されておらず、実質的に強制徴収状態になっている。赤十字の 20 万円は本年度予算に計上されていないが、社会福祉協議会の 20 万円はそのまま。赤十字を削ると、民生委員や福祉部が代わりに徴収負担を負うことになりかねないのでは。

(会長) 消防団への支援は長年の協力関係を重視した「寄付金」として 30 万円とした。任意徴収の 500 円は、今後は防災関連費へ振り向ける方針であり、実質の自治会会費は 6,500 円となる。赤十字への支払い停止は寄付の強制性回避や個人判断尊重の観点から決定(市にも報告済)した。社会福祉協議会会費は自治会の合意のもと支出を継続する。

《第 3 号議案(2025 年度予算案)採決》

出席・委任を含む総数 791 名中、賛成 772 名で議決

1.4 4号議案 集会所の建て替え（2035年）

■議事進行

- ・4号議案、集会所建て替えについて、会長説明をお願いします。

■会長による4号議案概要説明

- ・市の助成金（上限1000万円）申請枠に2035年で登録済である。助成には住民の「建て替え意思表示」が必要であり、建て替え委員会を設置し、予算案・レイアウト等の検討と市との協議を開始したい。工事は2035年度中に着工・完了するスケジュールを想定している。

《質疑応答》

（質問）外観は綺麗で頑丈に見える。1000万円補助があるから建て替えるのか？

（会長）外見はリニューアルで綺麗になったが、建物は築50年。「使えるからいい」ではなく、先を見据えた建て替えが必要である。

（質問）助成決定と建て替えが同年度（2035年）ではスケジュールが厳しくないか？

（会長）市の補助金は単年度予算のため、4月に承認→5月以降に着工→3月末までに完了が条件。2年前に概算見積り提出→翌年に相見積もり→助成決定→工事へ、という流れを想定している。合意形成や内容検討のため、早期に委員会を設置し準備を進める必要がある。

（質問）前は「あと30年持たせること」を目標に改修した。鉄骨の耐用年数は約70年と確認済。10年後に建て替えは、前提と異なるのでは？建て替えありきではなく、「どうするか」を検討する委員会であるべき。会長はどう思われるのか？

（会長）本議案が自身の方針である。

（質問）委員会メンバーの選出基準や募集方法どのようになっているのか。特別な資格（建築士など）は必要なのか。誰が委員長か。

（会長）経験を踏まえ、議論ができる方、かつ、自治会との連携ができる人物を慎重に選出したい。専門知識も必要だが、広く多様な視点を持つ人材を集める予定である。自身が委員長となる想定で準備を進めている。

（質問）建物は綺麗で50年経っているとはいえ、最近リニューアルしたばかりで早いのでは？との疑問があった。ただし、1000万円の助成金が「今逃すと20年先」との説明に納得し、建て替え賛成している。もし、助成が不承認となった場合はどうするのか。委員会で対応を考えるのか。

（会長）助成が不承認となった場合、継続か中止かはその時点の自治会執行部で判断。現時点では予約枠には座っているが、制度変更で枠が消える可能性はある。

（意見）2月15日の議事録に「建て替えの必要性を感じない」という意見が記載されている。小学校が将来的に廃校となる可能性もある中で、空き教室利用の可能性も検討すべきでは。3600万円の総予算、助成金の不確実性などを踏まえ、回覧等で住民総意を確認すべき。自身の会社の同僚の自治会でも空き教室を活用している事例がある。（拍手多数）

（会長）小学校廃校の話は市からの正式通知はなく、あくまで噂レベルである。空き教室利用も選択肢ではあるが、管理上の制約や教育委員会との交渉が必要。委員会を設置し、多様な意見を今後も吸収していく方針である。

（質問）建て替えには賛成。「支援法人化」の問題を議案に明記していないが、今後の検討課題として取り組むべきでは。

（会長）「支援法人」という制度はないが「法人化」の検討はかつて行ったことがある。メリット・デメリットを踏まえ、次期執行部での検討課題としたい。

（質問）利用団体の立場から見ると、用途によっては、小学校利用は不向きなところもある。規約上存在する「集会場運営委員会」を活用し、ソフト面（利用方法等）の検討も含めて議論をしていただきたい。

（会長）意見・要望として引き継ぐ。

（質問）集会所建て替え委員会について「議論ができる方、自治会と連携できる方」を委員とするとの会長の発言について、誰がその基準をどう判断するのか？選定基準の透明性を求めたい。

（会長）委員選出の明確な基準はない。話し合いの中で役割分担しながら柔軟に進めていく方針。委員会のトップは自治会執行部との連携・調整力が必要である。固定的でなくオープンに、入退も含め柔軟に構成したい。2035 年に向け、役員会・班長会へ進捗を報告しながら進めていく。

《第4号議案 集会所の建て替え 採決》

出席・委任を含む総数 791 名中、賛成 738 名で議決

1.5 5号議案 自治会規約の修正

■議事進行

- ・5号議案、自治会規約の修正について、会長説明をお願いします。

■会長による5号議案概要説明

- ・規約と実態の乖離を是正するため、内容を整理・修正をしたい。

《質疑応答》

（質問）奉仕活動支援に関する第54条の削除案は時期尚早。現行ガイドラインは不明瞭で理解困難である。条文の削除前にガイドラインの整備・周知が必要。削除案の再検討・撤回を求めたい。

（会長）ガイドラインは2023年に前執行部が作成・配布済み。条文の趣旨が曖昧（班長会の承認がなぜ必要かなど）。助成制度はボランティア活動を柔軟に支援する仕組みであり、詳細な定義はあえてしていない。

（質問）総会で可決された場合、修正が困難になるため慎重に扱うべき。赤十字支援など、削除は不適切ではないか。

（会長）第48条（日赤の社資協力）と予算の20万円支出は別の話であり、混同しないようにしていただきたい。今期はすでに赤十字への支出は予算から除外されており、3号議案で議決済みである。赤十字への社資については、今後再検討する場合、次年度以降、再び議案として扱えばよい。補足するが、日赤の支援団体登録は任意寄付とは別である。寄付の有無に関わらず、災害時などの支援には影響しない。

《第5号議案 自治会規約の修正 採決》

出席・委任を含む総数 791 名中、賛成 766 名で可決。

1.6 6号議案 2025年度 新任班長・役員選出案について

■議事進行

- ・6号議案、2025年度 新任班長・役員選出案について、ご承認いただける方挙手をお願いします。

■総務部による名簿訂正

- ・56班 班長磯田氏(施設部)から渋谷氏(施設部)に変更

《質疑応答》

(質問) 班長交代の連絡があったが、その方は施設部所属について了承しているのか。

(総務) 連絡をとり了承を得られている。

(質問) 石川会長の再任に反対ではないが、2年連続の会長続投は「異例」である。過去30年間は1年任期が原則だったため、ルールから外れている印象を持っている。敬愛短大跡地の件において、戸建て住宅よりも商業施設付き中層マンションの方が地域発展に有利である。総研(開発業者)との協議により、ウィンウィンの関係構築を提案したい。

⇒途中から議案内容と異なるため議長により議事を進行させ、採決に進む。

《第6号議案 2025年度 新任班長・役員選出案 採決》

出席・委任を含む総数 791 名中、賛成 780 名で可決。

【新会長からの就任挨拶および総括】

ありがとうございました。旧の会長として、本当に皆さんご協力いただきましてありがとうございました。これからは新の会長としてこの1年間、議論を重ねていきます。久しぶりに皆さんと対面でお話する機会がありましたので、できれば何かの機会で、このような対面でお話をする機会を設けたいと思います。出席していただく機会も難しいものがあるかとも思います。ただ、皆さん、班長さんがその地区の代表者ということになりますので、何かあれば班長さんに、こんなことをやってほしい、こういうことを考えてほしいなど、ぜひ上げて頂きたいと思います。あるいは、直接私に連絡いただくという感じでも構いません。皆さんと色々なことを話すというところから始まります。当然いろんな意見の違いは、あってしかるべきだと思います。ただ、その議論をするというのは、どちらが正しいか、正しくないかという話ではなくて、話をすることによってもっといいアイデアが生まれるかもしれないという、そういう目的意識をもって皆さんと議論していきたいと考えています。

前列にいる役員は今日で役目を終えます。座っていらっしゃる班長さんも今日で役目を終えます。この1年、皆さん本当に頑張ってやっていただきました。2025.4.12 その成果をまた次年度、私がある意味引き継ぎながら、次の新しい班長さん、執行部のメンバーと議論を重ねながらやっていきたいと思っています。どうもありがとうございました。

以上。